

八千把小学校だより 「おおきな希望」

第6号 令和2年8月7日(金)

《文責：校長》

いよいよ夏休みです

短いけど、楽しくそして有意義な夏休みにしましょう！

8月8日～19日まで夏休みになります。いつもと違った夏休みになりますが、一人一人がこの夏休みだからできることにチャレンジしてほしいと思います。新型コロナウイルス感染症防止に努めていただき、子供たちにとって楽しく有意義な夏休みになることを願っています。1学期の終業式で子供たちに話したことを紹介します。よろしくお願ひいたします。

皆さん、おはようございます。

今、1学期の振り返りをしてくれた5年1組 井上 友葉さん、6年2組 森 小雪さんありがとうございました。

本年度は、コロナ感染症のため、4月、5月は自宅で過ごすことになり、いつもより短い1学期でした。しかし、みんなは、きっとこの1学期、めあてを持って、やるぞーという気持ちで一人一人がよくがんばっていたと思います。短くてもいろんなことがあった1学期ですが、あったことを思い出して、振り返りをしてほしいと思います。「うまくいったこと」「できるようになったこと」は、自分の力となっています。自信を持ってください。また、「失敗したこと」「できなかったこと」は、これからがんばるための材料として欲しいと思います。

ここで、皆さんにたずねたいことがあります。

校長先生は、みんなにこれだけできるようになってほしいと思っていることがあります。それは何だと思えますか。……

毎朝校長先生が皆さんに振りかけていることです。

そう、あいさつです。校長先生は、自分からあいさつができる人は、「相手の気持ちを考え、優しく声をかけたり、優しく接してくれる人」だと思っています。そして、「自分の考えを相手にしっかりと伝えることができる人、たくさんの人とお友達になれる人」だと思っています。そして、そんな人になってほしいという思いを持ってあいさつを振りかけています。

それでは、みんなに尋ねます。担任の先生方、子供たちの様子をしっかりと見ておいてください。今から尋ねることは、校長先生にだけではありません。友だちや地域の方、家族、先生方すべてに対してです。できたと思う人は何度でも手を挙げたり立ったりしてください。

○ 「1学期、自分からあいさつが1度でもできた人」手を挙げてください。

○ 「相手の顔を見てあいさつが1度でもできた人」手を挙げてください。

次からが、本当にできるようになった人です。

○ 1学期、いつも自然に自分からあいさつができるようになった人は立ってください。

○ 1学期、いつも相手の顔を見てあいさつできるようになった人は立ってください。

ここで立つことができた人は、最高にすてきな人です。できなかった人は、みんなできるようになってください。

校長先生は、すべての八千把小学校の子供たちが自分から相手の顔を見てあいさつできるようになってくれることを心から願っています。

「自分から相手の顔を見てあいさつができる」というたった1つのことです。みんなの力で達成させてください。2学期の終業式でも聞きます。

今年の夏休みは、とても短いです。けれども、この夏休みをどう過ごすかで、みんなの力は大きく変わると思います。みんなは、4月、5月で家庭での過ごし方は学んでいるはずですが、12日間の休みにしかできない課題を宿題以外に1つ決めてチャレンジしてください。

「毎日読書を30分以上する」とか「毎日夕食の後片付けを手伝う」とか「苦手な漢字の練習を毎日ノート1ページする」とか何でもいいです。大切なことは毎日することです。

最後になりましたが、夏休み期間中もコロナ感染症の予防である「マスク着用」「手洗いうがい」を家庭でも必ず行い、8月20日の始業式に、八千把小学校の子供たち全員が元気で、そして笑顔で登校してくれることを楽しみにしています。

「心のきずな」を深めるための約束をつきました。

みんなで決めたことです。必ず実行しましょう。…代表委員会

7月13日(月)に第1回代表委員会が開催されました。この会では、各学級で考えてきたことを出し合い、学校全体で取り組むことを決めます。今回は、「心のきずな」を深めるための約束を決めました。

それぞれの学級からは「高学年になるにつれて、一方的に呼び捨てをする人がふえてくるから」、「1年生でも分かる言葉が入っていた方がよい」、「約束なので『～しよう』という表現にした方がよい」、「思いやりの心を持ち、楽しい学校にしようということが伝わる言葉にした方がよい」など、各学級の代表者が意見を出し合い、次の約束ができあがりました。



○ 名前に「くん」「さん」をつけてよび、「ありがとう」「ごめんね」「どうぞ」が聞こえる学校にしよう。

○ 男女仲良く、力を合わせて、やさしさあふれる楽しい学校にしよう。

今後、運営委員会から、この約束を意識づけ、浸透させるための具体的な取り組みが提案されるそうです。どんな取組が提案されるか楽しみです。